

「予備自衛官5日間訓練」

山梨地本は1月28日(金)から2月1日(火)までの間、第1特科隊本部管理中隊が担任・実施した令和3年度第4回予備自衛官5日間訓練に、予備自衛官17名を招集しました。

出頭予備自衛官へは、出頭2週間前より、発熱チェックと行動履歴の記載をお願いする等感染拡大防止を徹底した中での訓練となりました。

参加した予備自衛官は、整齊と訓練開始式に臨み、本部管理中隊長に対して訓練開始申告を行い、引き続き訓練担任官である本部管理中隊長より、「無理をしない。」「感染対策に気を付けて訓練する。」の2点の要望事項が示達され、予備自衛官旗が授与されました。

2日目の訓練では小火器射撃検定の他、小銃の構え方等のガンハンドリング訓練等より実戦を意識した訓練が行われ、参加した隊員も緊張感を持って臨んでいました。

また、午後から行われた基本教練において、部隊を指揮した隊員からは「思っていた以上に行進をさせる難しさを感じた。」等の感想が聞かれました。

3日目は、反復横跳び等をはじめとした体力測定が実施されました。

4日目においては、演習場において写真図の作成、行進訓練等が行われました。

隊員からは「地図上で位置を確認し、行進計画を立てたが、実際に行進をしてみると、思った以上に地図と実際の地形の整合が難しかった。」等の声が聞かれました。

最終日には特殊武器防護についての教育が行われ日々進化し続けている最前線の特殊武器防護について体験することができたようでした。

山梨地本は今後も予備自衛官、雇用企業及び部隊との綿密な調整を行い、予備自衛官の皆さんが安心して訓練に参加出来るよう出頭環境の整備に努めて参ります。

